

# すくすく仁尾っ子シアターⅪ

## とらまる人形劇団公演



2023年 **12月16日** (土)

**10時30分**~**12時** (開場:10時15分)

どなたでも (大人の方も)  
お申込みいただけます。

場 所 : 仁尾町文化会館 (1階 多目的ホール)  
定 員 : 80名 (先着順) 入場料 : 無料  
公 演 : 一般財団法人とらまる人形劇研究所  
主 催 : 特定非営利活動法人 まちづくり推進隊仁尾

とらまる人形劇団 第19回作品  
◆小太郎と龍の石  
昔話「仙人のおしえ」より

- ※1 小学生未満は、保護者同伴でお申込みください。
- ※2 駐車場には限りがございますので、徒歩・自転車・乗り合わせ等ご協力をお願いします。  
・近隣の方の迷惑になりますので、路上駐車はご遠慮下さい。  
・文化会館駐車場の他、市民センター仁尾駐車場・旧仁尾保育所跡駐車場もご利用下さい。
- ※3 会場内は、原則飲食禁止ですが水分補給の飲み物は構いませんので、各自ご用意ください。
- ※4 体調がすぐれない方(発熱・咳・咽頭痛などの症状の方)は、ご参加をお控えください。
- ※5 感染状況により中止または延期になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【申込み・問合せ先】

まちづくり推進隊仁尾 (市民センター仁尾内) ☎ : 0875-82-5207

☆右記 QR コードを読み取り、申込みフォームからお申込みいただけます。



※キリトリ※

「すくすく仁尾っ子シアターⅪ 人形劇」 申 込 書

まちづくり推進隊仁尾

代 表 者	氏名	電話番号	自宅
	住所		携帯
同 伴 者	氏 名 (フリガナ)		備 考
		年齢及び学年	
		歳 年生	
		歳 年生	
		歳 年生	

【お申込み : **定員になり次第締切** まちづくり推進隊仁尾 (市民センター仁尾内) までお申し込みください】

【上演作品あらすじ】

# こたろう 小太郎と 龍の石



昔話「仙人のおしえ」より

たび とちゅう で あった たき りゅう  
旅の途中で出会ったのは、滝につかまった龍？

せんじん  
へんてこりんな仙人さま？

ちい なき むし こたろう い こころ だいぼうけん  
小さくて泣き虫の小太郎が行く心 あたたまる大冒険ファンタジー!!



むかしむかし、小太郎(こたろう)は目の不自由なお母さんと、寄りそって暮らしていました。ある日のこと、ふかーい山の奥に、すごーい仙人がいるとのうわさを聞いて、小太郎はさっそくお母さんの目の病気を治す方法を教えてもらうために、仙人を訪ねて旅に出ることにしました。お母さんはまだ幼い小太郎のことがとても心配でしたが、小太郎の強い気持ちとやさしさに負けて、お弁当を作って送り出してくれました。

いさんで歩き出した小太郎が長者屋敷の前を通りかかったとき、長者の娘さんがえらーいお医者さまでも治せない重い病気だということを知りました。長者さんに仙人を訪ねて旅に出るとあいさつすると、ついでに娘さんの病気を治す方法も聞いてきてくれと頼まれます。小太郎は快く引き受けてさらにスタスタと旅を続けます。

さあ、いよいよ山道にかかろうとしたとき、赤ちゃんの泣き声が一軒の家から聞こえてきます。あまりにはげしい泣き声に、おそろおそろ声をかけてみました。すると赤ん坊を抱いた女の人が出てきて言うには、急にお乳が出なくなってしまったので、赤ちゃんはお腹をすかせて泣いているとのことでした。仙人に会いに行くことを告げると、ここでもお乳の出る方法を聞いてきてくれと頼まれます。小太郎はこの願いも引き受けて、いよいよ山の中にドンドンズンズン入って行きました。

しばらく行くとゴーゴーと音を立てて流れ落ちる大きな滝に突き当たりました。見上げるとまわりは高いがけになっていて、どうやらここで行き止まりのようです。途方に暮れた小太郎がメソメソグズグズ泣いていると、ジャジャーン！突然、おそろしげな龍が姿を現します。でもその龍は、見かけによらず気のいい龍で、なぜかこの滝につかまってしまって、天に昇れなくて困っていたのです。小太郎が天に昇る方法を仙人に聞いてきてあげると言う、龍は尻尾をつかって小太郎をがけの上にはこんでくれました。

小太郎はさらに旅を続けて、険しい岩山をヨイショコラショとよじのぼり、とうとう雲がたなびく山の天辺に住んでいる仙人にあうことができました。しかし仙人は小太郎をすげなく追い返そうとします。小太郎はめげずにひしひしに訴えると、仙人は小太郎のしんけんな気持ちにほだされて、どんな願いも叶うという、ふしぎな袋を3つくれました。

でも、長者の娘さんの重い病と、お乳の出ない女の人、天に昇れない龍、そして小太郎のお母さんの目の病気、願いは全部で4つです。みんなとの約束は守りたいけど、どうしても1つ足りません。小太郎は悩みながらトボトボと帰り道を下ります。願いは4つ、袋は3つ…。はてさて、小太郎は一体どうしたらいいのでしょうか？

